

「止めよう経ヶ岬の米軍レーダー・危険な戦争準備を許さない」

## 緊急京都府民の会・南部連絡会 会報 No.1

発行： 緊急京都府民の会・南部連絡会

連絡先： 京都市上京区四番町121-5 大湾宗則

2013年10月3日

TEL/FAX： 075-467-4437

E-mail： [ohwankyoto@nifty.com](mailto:ohwankyoto@nifty.com)

## 「京都に米軍基地はいらない！9・20緊急集会」 150人の参加で成功！

山田啓二京都府知事と中山泰京丹後市長は9月19日、米軍Xバンドレーダー基地の受け入れを正式に表明しました。この知事の受け入れ表明に対して、9月20日、「京都に米軍基地はいらない！9・20緊急集会」がキャンパスプラザ京都・第四講義室で開かれ、約150人の労働者や市民が結集しました。集会は南部連絡会共同代表の白井美喜子さんの司会で進められ、開会あいさつと役員紹介を南部連絡会共同代表の仲尾宏さんがおこないました。

仲尾さんは「京都に米軍基地がつくられるのは60年ぶりである。Xバンドレーダー基地ができると舞鶴の自衛隊基地、福知山の自衛隊基地などを含めて京都府全体が米軍の世界戦略の中に組み込まれることになる。今度の米軍基地もいったん建設されればさらに拡張され、160人と言われる米軍人・軍属の数が2倍、3倍にもなるおそれは十分にある。それを跳ね返していくのは市民の力しかない。この集まりを出発点として、これからの粘り強い闘いを多くの人たちとともにしていきたい。」



とあいさつしました（写真左）。そして、池田さんによる「9/7～9/8 京丹後フィールドワーク」報告があり、続いて山本純・南部連絡会事務局長より、私たちの闘いの経過の報告とこれからの闘いの課題についての提起がありました。山本さんは「京都府知事に対して受け入れ表明撤回を迫るとともに、防衛省による基地建設そのものと対決する新しい局面に私たちは立っている。沖縄の闘いにまなぶならば闘いはこれからだ。」

私たちは現地から呼び掛けられることについて、あらゆる努力をつくして応えていく、そのことを基礎に置きながらこれからの闘いをつくっていきたい。」と提起しました。

次に、南部連絡会共同代表の大湾宗則さんが基調報告を行いました（写真右）。



大湾さんは「京都沖縄県人会の方々にもこの米軍Xバンドレーダー基地の問題をとりあげ頑張っている。私たちは京都府との交渉で、国が提起しているXバンドレーダーについて何が安全か、その根拠を示してほしいと求めても、府は防衛省が言っていることを概ね良とする、京都市内、京都府南部で住民説明会をするべきだと言っても、府はする必要はない、との答えしか返ってこない。府は京都府民の声を聞かず、環境影響評価をやらず、政府のやる基地建設に歯止めができない状況。国家の政策として新秘密保護法が出されているが、京都府が私たちに情報公開しない、住民説明会をやらない、この壁を突破しなければならない。「もう決まったのちがう。」「いくら言ってもしかたがない。」、その言葉の裏



に、言いたいけれども言えない、賛成はしていないと言う宇川や京丹後の人たちの多くの声がある。沖縄では辺野古新基地建設を座り込んで阻止してきた。私たちは京都府知事、京丹後市長の受け入れ表明でたじろいではない、これからが勝負である。一緒に闘おう。」と述べ基地建設阻止に向けてさらに活動を強めていくことを訴えました。そして、Xバンドレーダーとはどのようなものかを解説しました。

次に、「緊急府民の会」代表の大槻正則さんがあいさつしました（写真左上）。大槻さんは「Xバンドレーダーの冷却水で冷たい魚がとれなくなる可能性がある。

知事・市長は漁民の言うことをきちんと聞くべきではないか。また、地元では田畑が少なく、基地建設でさらに土地を取り上げられたら農業ができなくなってしまう。地元の人がおとなしいので、ここにXバンドレーダー基地をつくろうとしているが、地元の人を無視したやり方を絶対にゆるしてはならない。署名は地元で約1万5千筆とったが、必死のわざである。「あなたの言うことはわかった。でも署名はしない。」と言われる。京都府南部では署名が6千数百しかとれておらず、ほんとに少ない。もう少しがんばってほしい。相手も見ている。」と訴えました。そして、沖縄平和運動センター事務局長・山城博治からのメッセージが奥田さんによって代読されたあと、「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」事務局長の永井友昭さんより現場からの訴えがありました（写真右上）。



永井さんは「市長は口を開けば住民の安全・安心の確保が第一だと言うが、やり方はなるべく皆が知らない間に知らないところで進めて、もうできたちゃったよあきらめなさい、国のやることだから、もういくら言っても仕方がない、という雰囲気をつくっていくのが、市長の腹である。しかし、我々の声をいろんな形で届け、市長はやりたくなかったが、8月7日に4回目の説明会をやらせた。8月7日の説明会では22名の方が発言し、22名全員が「おかしいではないか」「反対だ」「やり方がひどい」「防衛省はなっとらん」という話で「市長、がんばりなさいよ」という声は一言も誰からも出なかった。市長は「平和のために必要だ」という理屈で受け入れ表明をおこなったが、戦争のためではないのか。宇川の人たちはなかなか声をだせない状況が続いていたが、ピラをまいたりする中で、いろんなところから声が出てくるようになった。「宇川有志の会」のピラを地域でまいたが、苦情を言ってきたり抗議してきた人は一人もなかった。心の中では皆、米軍基地が来るのはいやだと思っている。市長は議会でも



はっきりした意思表示は確認していない、府民には知らせない、住民は反対している、知事・市長が勝手にやる、こんなことが通って良いのか。府知事・市長は「安全・安心は国がOKしたから大丈夫」というが、そんなものは何の役にも立たないことは沖縄の墜落事故などで証明されている。安全・安心がきちっと保証されなければ宇川の住民はイエスとは言えない。また、そのようなものはどこまでいってもはっきりとはできない。現地はやれることをやって、ありとあらゆる可能なことをやっている。ネットワークも広がってきた。皆さんともようやく繋がることができ、新しい若い人たちとも繋がることのできた。しかしまだ小さい。日本国中の話題となるように皆さん力を合わせましょう。」と述べました。

続いて「丹後出身者からのアピール」として南部連絡会共同代表の上岡修さんが発言しました（写真左下）。上岡さんは「私は丹後町に18歳まで住んでいた。親戚の人に聞くと地元はあきらめムードが



大きな流れとなっている。私が非常に憤慨したことがある。2月26日に防衛省事務次官が京丹後市長に会った。その中で防衛省事務次官は『Xバンドレーダーは防御的な施設であるから攻撃される可能性は少ない』と言った。京丹後市長の目的は金、それを導き出すためにそう言ったのではないか。中山市長は住民の安全・安心・命を金で売ったことになる。Xバンドレーダーの照射範囲ははっきりしていない。どうい

う影響があるのか何も説明がないままに強行されようとしている。相手側は大きな話になる前に押さえてしまおうと思っ

ている。皆さん方も反対の輪をさらに大きくしてほしい。」とアピールしました。次に「待ちなはれ！京都に米軍基地はいりまへん」の会から京都府要請行動の報告、スワロウカフェの方から連帯のアピールがありました。



そして、「政府・防衛省は、Xバンドレーダー基地に着工せず、計画を中止すること」などを要請する抗議要請文を駒井さんが読み上げたあと、満場の拍手で採択しました。最後に南部連絡会共同代表の瀧川順朗さんが閉会のあいさつをし（写真右）、「Xバンドレーダーの設置、オスプレイの訓練、集団的自衛権行使への動き、新秘密保護法、それらを見れば日本がどういう国になろうとしているか明確だ。京都に米軍基地がつくられようとしていることに闘わずして、沖縄連帯はない。そこを皆で確認しよう。京都市内では署名は多くは集まっていない。ひとりでも多く署名を集め、語りかけ、仲間を増やしていく闘いを進めていこう。」と締め括りました。闘いはこれからです。がんばりましょう。



# 9・24 府庁前アピール行動・

## 京都府への抗議申し入れ



9月24日、緊急京都府民の会は午前7時30分から8時30分まで府庁前でのアピール行動を行い、約1000枚のビラをまきました。その後、8時45分から10時30分頃まで、京都府に対する申し入れを行いました。参加者はいずれも約10人でした。

申し入れで対応したのは、本会議中だったので、総務調整課・塩見副課長一人でした。申し入れでは、9月20日の集会で採択した抗議要請文を瀧川順朗さんが読み上げ、2711筆の署名とともに手渡

しました。

その後、参加者が「9月19日に知事が受け入れ表明をしたが、府としての受け入れに至る国との合意内容および府としての考え方を示す文書はあるのか？府としての公式の文書をもって公表すべきだ。」「この間一貫して府民に対して説明会を開くように要求してきた。説明会は必要ないと考えているのか？」「環境影響評価をするように国に要望はしたのか？」などの質問や意見の表明などを、さまざまな論点をめぐって行いました。



## オスプレイ来るな！日米合同軍事演習反対！9・29あいは野集会で

### 米軍Xバンドレーダー基地建設反対をアピール



高島市の陸上自衛隊饗庭野演習場で10月に実施される新型輸送機オスプレイ参加の日米共同訓練に反対する集会在29日、今津町・住吉公園で開かれ、関西地方を中心に各地から約800人が参加しました。

集会では、沖縄平和運動センター議長・山城博治さんのオスプレイ配備に対する怒りに満ちた連帯あいさつのあと、緊急府民の会・南部連絡会 共同代表の大湾宗則さんが経ヶ岬への米軍Xバンドレーダー基地建設反対をアピールしました。

## 9 / 7 ~ 8 京丹後現地フィールドワークに参加して

航空自衛隊経ヶ岬分屯地に米軍のXバンドレーダーが配備され、新たに米軍基地が作られようとしている。米軍基地建設を止めるために、現地に赴き、環境条件、現地の人との交流、現地の反対運動の状況を調査・学習する目的で、フィールドワークが南部連絡会（「止めよう経ヶ岬の米軍レーダー・危険な戦争準備を許さない」緊急京都府民の会南部連絡会）で計画され、参加した。

### 1. 海からの景観

海上とび丸タクシーに乗って、中浜漁港から経ヶ岬までの海岸線の景観を海から観察。山陰海岸ジオパークの自然遺産といわれる海岸線には、様々な形や色をした岩の断崖や海食洞窟。赤色、黒色、白色の岩は溶岩や火砕流からできたものであると聞かされ、それらの岩いわが見学行程の短い区間の中に入り組んで展開する景観は、長い時間をかけた地形の歴史を想像させる。同時に、丹後半島に火山はあったのだろうかという疑問もわいたがまだ調べていない。

屏風のような岩の断崖に海食洞窟のある穴文殊周辺の景観は、岩の断崖の上、老松の繁る中に航空自衛隊の建物やアンテナが並んでいる。建物は薄緑色に塗られ景観に配慮されているようではあるが、鉄柱についてのパラボラアンテナは、違和感がある。さらに米軍のXバンドレーダーや冷却機（棟）、電源、建物などを想像すると景観は台無しになってしまう。

穴文殊につらなる袖志の集落は海岸線にはりついており、かつては素潜りの海人の集落であったそうだ、小さな船溜まりに舟影はなかった。集落に迫る背後の山には棚田があり、黄金色に色づき始めていた。素潜り漁労と棚田を耕して生計を立ててこられた集落の生活が目に見える。田植え頃の水を張った棚田の様子は、明鏡止水の美しさであろうことが容易に想像できる。

経ヶ岬灯台のある海岸の断崖には円柱状の岩が肩を寄せ合って並んでおり、お経の巻物を並べたようにも見え、経ヶ岬命名の逸話の一つにもなっている。その断崖にある大きな海食洞窟に先述の穴文殊が祭られていたそうで、後に現在に所に移されたそうである。その海食洞窟は隆起によって海面より高い位置にある。移された時期(1609)が隆起の前か後かは分からないが、いずれにしても、その海食洞窟には陸伝いには行けず、舟でしか行けなかったように見える。日本海のこの地域では毎年何人かの漁民が海難事故で亡くなる状況があったそうで、穴文殊はそういう漁民たちによって祭られていたことが想像される。

海のタクシーを下船する時、躁船と案内をしていただいた船長に、Xバンドレーダーの事を尋ねると、「わしら、ガンガンに反対やで」との答えが返ってきた。



## 2. 穴文殊周辺の米軍基地建設予定地と自衛隊基地拡張現場の調査

現地の調査説明は「憂う会」の方にしていただいた。この方は間人で漁師をしておられるとのこと。

- ①、2月22日の日米首脳会談でXバンドレーダー設置が決まる。  
3月11日、防衛省からの説明。  
以降、地元住民の戸惑い。
- ②、レーダーの前方数100mは、立ち入り禁止、上空半径6kmは飛行禁止。電磁波の影響
  - ・豊岡（兵庫県）からのドクターヘリへの影響懸念
  - ・漁師の身体への影響懸念（この海域は鰯、鯛、平目の漁場であり、一本釣、底引き、遊漁船の操業が行われている。）
  - ・漁船の魚群探知機、GPSへの影響懸念
- ③、米軍は環境影響調査をしない（防衛省の説明）
  - ・道路（R178）から海側は、国定公園の規制あり
  - ・はやぶさ（希少野生動植物種の指定）の生息地であることも無視
  - ・ハワイのこうもりの例（基地設置断念）と比べると・・・どうということか？
  - ・宇川のあゆ 米軍は50t/日の水をレーダー冷却用に使われているが、地下の伏流水などを汲みあげられた場合、あゆの生息に影響があるのでは？  
また、袖志などの田の水利権も高い。戦後の米軍駐留時（1948～58.59）米軍は上流から水を勝手に取水し、米軍の後を引き継いだ自衛隊もそのまま使っている（自衛隊は水代金を払っていないのでは？）
- ④、米軍・軍属の住宅建設予定地はまだ決まっていない  
宇川中学校跡地（本年度で廃校予定）、竹野（たかの）小学校廃校跡地、平の自衛官官舎の空き地などが候補地としてあがっている。
- ⑤、住民説明会の欺瞞性、納得のいく説明なし  
6/9 前宜野湾市長の伊波さんを招いての学習会で伊波さんが説明  
「防衛省の幹部が、高江での説明会で言ったことと現実が大きく違う」
- ⑥、米軍基地建設を憂う宇川有志の会
  - ・「憂う」会は反対の立場をとっていない、戸惑う住民に配慮してビラを作り、誰にも分かるようにしたいというスタンス。しかし、事態のテンポは速い。

☆説明を聞いて、地元の人たちは、おおくの危惧を抱いているにもかかわらず

ず、住民説明会では防衛省や京丹後市から納得のいく説明が得られず事態が推移して行くことに大きな戸惑いを感じている様子が分かった。ちなみに、8/7の住民説明会では20数名の発言者からは賛成の意見は無かったようだ。憂う宇川有志の会の地域社会全体の理解を促進しようとする努力に敬服すると同時に、丹後という地域社会での運動の組織化には全国的な支援の必要性を感じた。

### 3. 竹野公民館での大下省三さんの説明会

大下さんは前竹野区長で、説明会のために公民館を準備していただいた。大下さんからは、「国がやることに反対してもやられるだろう」というのが大半の住民の雰囲気、京丹後町議会も経済効果（年3億円の交付金）や「沖縄の負担軽減」??を理由に条件付き受け入れの方向にあることが報告された。

参加者は、この地域は久美浜原発をとめた経験のある地であり、中山市長が「日米安保は必要」としてレーダー配備を受け入れようとしているのであれば、

- ・地位協定を適用するな！
- ・環境評価をちゃんとしろ！
- ・住民が判断する材料を出してくれ！

と迫ったらよいのではないかと激励した。

### 4. 「緊急府民の会」の代表大槻正則さんの資料集と報告

民宿まる幸荘での夕食前に宇川温泉「吉野の里」で入浴、大きい入浴施設で露天風呂などもあり最高でした。夕食時の自己紹介ではそれぞれがこの運動にかかわる思いが語られ共感する部分も多かったし、お互いが激励された。大槻さんは、Xバンドレーダー配備反対に関する大部の資料集を全員に準備していただき、経過と現状を報告された。

### 5. 「憂う宇川有志の会」の永井友昭を講師に学習会

永井さんは峰山高校弥栄分校の教師、労働組合では丹後3校の東ね役、久美浜原発反対運動にも深くかかわった経歴の持ち主。永井さんからは、京都府、京丹後市の動向、反対運動団体の動向、今後の展望が詳しく語られた。

### 6. 宇川地区での戸別ビラ配り

一軒ごとにビラとリーフレットを配ったが、次の一軒が遠い、空き家が多い、人が住んでいる様子はあるが人影に出くわさない。海側の比較的立て込んだ集落では車の入らないような細い路地が続き、ビラは捌けるが人はいない。ちいさな畑を耕していたお婆さんにビラを手渡すと「ご苦労さん」といって手押し車にビラを丁寧にしまった。過疎の実態を痛感。

### 7. 経ヶ岬から伊根に向かう道 はやぶさに出会った！

今回のフィールドワークの下見を8/25に行った時、この道ではやぶさに出会った。車道の真ん中にはやぶさが凜とした姿勢で立っていた。餌を追いかけて車道に舞い降りてきたのか？ いやいや、「反対運動するなら、俺のことも忘れるな！」とアピールしていたのかも？

#### 8. 十割そば処「まる丹」

伊根から宮津に海岸沿いにあるそば処「まる丹」、こんな所で商売が成り立つんだらうかと思える場所にあるそば屋、ともかくうまい十割そば。

店主の立垣為良さんは元国労、店の看板に並列する原発反対の看板には田中正造の言葉が、日毎の放射線量を知らせる告知板、ともかく発信し続けている。

#### 9. フィールドワークに参加して

ジオパークや国立公園の丹後のすばらしい海岸線、そこはまた、若者が流出した過疎の地ではあるが、自然・文化・地域社会を守ってきた人々の営みがある。

対極の大量生産・大量消費、飽くなき利潤追求、マクドナルド難民や追い出し部屋、挙句の果てに過労死、人間が大切にされないグローバリズムと戦争の世界。

戦争の道具である基地や兵器（レーダー）が、丹後の海岸に設置されようとしている。共存できない違和感とおぞましさを感じる。私たちはどちらを選ぼうとしているのか？！

最近知った「懐かしい未来」という言葉が頭をよぎった。

瀧川順朗



ハヤブサよ 岬よ 2013・9・30 マツター

ハヤブサよ 翼広げ 空を舞え  
四季を彩る 花たちが  
半島(シマ)を縁取り 心和む  
古(イニシエ)より花々は  
移ろいゆく季節(とき)を優しく抱いて一

ここは京丹後 ジオパーク経ヶ岬  
ハヤブサよ その鋭いくちばしで  
切り裂くがいい  
季節(とき)を壊すあの基地を

ハヤブサよ 翼広げ 空を舞え  
荒ぶる潮は 斧打ち降ろし  
岩を刻み 塑造する  
古(イニシエ)より潮騒は  
ざわめく海を強く抱いて一

ここは京丹後 ジオパーク経ヶ岬  
ハヤブサよ その鋭い足爪で  
押し潰せ  
海を汚すあの基地を

ハヤブサよ 翼広げ 空を舞え  
山を紡ぐ 樹々たちが  
陽射しを浴び 息づく  
古(イニシエ)より森たちは  
実りの大地を豊かに抱いて一

ここは京丹後 ジオパーク経ヶ岬  
ハヤブサよ その強い翼で  
吹き飛ばすがいい  
大地脅かすあの基地を

嗚呼 空と海と大地の使者よ  
ハヤブサよ  
空を舞い 海を渡り 大地抱きしめ  
この半島(シマ)を永久に守れ